

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	地域の明日を考える講演会	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画事業部
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

1. 事業目的

本事業は、北陸地域の社会資本整備や地域づくりに関連する新たな視点や考え方、地域住民にとって参考となる情報を広く提供し、北陸地域の社会資本整備や地域づくり活動に関わる人々の交流と連携を促進する場として、さまざまなネットワークの形成・強化・拡大を推進し、影響力を持つ内外のオピニオンリーダー層との情報交換・連携強化の場をつくることによって、地域の活力の増進や活性化に寄与するものである。

2. 事業実施体制

主催：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

2004年に発生した中越地震から20年の節目の年を迎えた。この間も、全国各地で激甚化・頻発化する自然災害からの復旧・復興が進められてきた。「地域の明日を考える講演会」では、被災地域における復興からの地域づくりに関わり、実践研究を進められてきた渥美公秀氏を迎え、小千谷市塩谷集落での取り組みを例に、能登半島地震の被災地だけでなく他災害の被災地における復興からの地域づくりに資する講演会を実施した。

日時：令和6年12月19日(木) 14:00～15:30

場所：アートホテル新潟駅前

プログラム：

講演「復興からの地域づくり ～塩谷集落の取り組みを例として～」

講師：渥美公秀(大阪大学大学院人間科学研究科教授)

参加者：60名

* 建設コンサルタンツ協会認定CPDプログラム

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

講演会では、中越地震の被災地である小千谷市塩谷集落において共同的実践とアクションリサーチから見てきた集落復興の様子とその後の地域づくりに必要な要素は何かと言った視点から、能登半島地震の被災地に関わるボランティアの現状を交えながら助言・提言をいただいた。

講演の内容は採録記事として当会の機関誌『北陸の視座』Vol.39に掲載し、より多くの方へ発信する。

地域の明日を考える講演会

「復興からの地域づくり」
～塩谷集落の取り組みを例として～

2004年に発生した中越地震から20年の節目の年を迎えました。この間も、全国各地で激甚化・頻発化する自然災害からの復旧・復興が進められてきました。「地域の明日を考える講演会」では、被災地域における復興からの地域づくりに関わり、実践研究を進められてきた渥美公秀氏を迎え、小千谷市塩谷集落での取り組みを例に、能登半島地震の被災地だけでなく他災害の被災地における復興からの地域づくりに資する講演会を実施しました。

【講師】
渥美公秀氏
大阪大学大学院人間科学研究科教授、中国と台湾の文化研究センター長、1995年神戸大学文学部助教授、西宮市で阪神・淡路大震災に被災し、国内外の災害ボランティア活動に注力し、実践と研究を続ける。1999年より大阪大学大学院人間科学研究科助教授、教授、現在は、国特日本災害救援ボランティアネットワーク代表理事、重慶市災害ボランティア協会(仮設)、重慶市「東日本大震災と災害ボランティア」大阪大学共同研究推進センター(仮設)の監事、大阪大学国際社会科学研究センター「復興から考える」社会科学研究センターの理事。

■日時 令和6年12月19日(木) 14:00～15:30
(13:30受付開始)

■会場 アートホテル新潟駅前 4F「越後(西)」
(新潟市中央区笹01-1)

■募集 100名(先着) 令和6年12月17日(火)締切り
※ 聴講をご希望の方は、裏面をご確認ください。お申し込みください。
※ 定員に達し、次第募集を締め切らせていただきます。

参加無料

主催：一般社団法人 北陸地域づくり協会



告知チラシ